



編集後記

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

腎細胞癌に関しての治療は近年目覚ましい進歩を遂げています。小職が若い頃は、インターフェロンをはじめとした免疫療法が行われておりましたが、その後、分子標的治療から免疫チェックポイント阻害薬（ICI）、そして今はICIとのコンビネーション治療が用いられています。

一方で、腸内細菌叢の研究も癌治療で進んでいます。本年2月号の編集後記では、腸内細菌がアンドロゲンを生成し去勢抵抗性前立腺癌に影響する話をしましたが、今回は善玉細菌であるプロバイオティクスに関する話題です。プロバイオティクスとは、宿主に有益な作用をもたらす生きた微生物を示す言葉であり、その語源は生物に拮抗的に働く「antibiotics」に対して、「生命のため」により生まれた言葉です。スーパーマーケットやコンビニエンスストアのヨーグルトや乳酸菌飲料コーナーでよく目にするものであり、健康増進や医療分野で広く期待されています。プロバイオティクスは生きた微生物を用いた生菌製品であり、われわれも抗菌薬の投与時にビオフェルミン[®]やミヤリサン[®]などを投与しています。

今回の話題の中心は「ミヤリサン[®]」です。1933年に国内で発見された宮入菌（酪酸菌：学名 *Clostridium butyricum*）を、1940年に医薬に応用して以来、医療

用および一般用整腸剤として使われています。この宮入菌（酪酸菌）製剤は、抗菌薬の服用により現れる下痢など、腸内細菌叢の異常による諸症状の改善のため医療用に使われており、最近の研究においては、腸内細菌叢が癌患者のICIへの反応に影響を与えることが報告されています。

最近、ミヤリサン[®]が腸内細菌叢の調節を通じてICI応答を増強する可能性があるという論文が発表されました。この論文では、非盲検単一施設試験で転移性腎細胞癌30人にニボルマブとイビリムマブが投与され、その30人をミヤリサン[®]投与と非投与に割りつけ検討されています。無増悪生存期間は、ミヤリサン[®]を投与した患者では、投与しなかった患者よりも有意に延長しました。統計的に有意ではありませんが、ミヤリサン[®]を投与された患者の奏効率も高かったようです。以上、ほんの30例のPhase I試験でありながらNature Medicineに掲載されています。

日本発のミヤリサン[®]が、ICIの治療効果向上に役立つ可能性があり、またしても腸内細菌叢恐るべしと思うと同時に、プロバイオティクスの眉唾の健康食品にも今後十分に注意が必要になると考える今日この頃です。

（近藤幸尋）

臨床泌尿器科（第76巻 第6号）（通巻912号）

2022年5月20日発行（毎月1回20日発行）

定価：3,080円（本体2,800円＋税10%）

2022年年間購読料

（増刊号を含む13冊，税込，送料小社負担）

冊子版 43,824円

電子版（個人）43,824円

冊子＋電子版（個人）49,324円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724

（担当：樋川・今田）

販売・PR部直通 (03) 3817-5659

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

振替口座 東京 00170-9-96693番

印刷所 ㈱双文社印刷 電話 (03) 3973-6271

広告申込所 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2022. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写，スキャン，デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学，病院，診療所，企業などにおいて，業務上使用する目的（診療，研究活動を含む）で上記の行為を行うことは，その使用範囲が内部的であっても，私的使用には該当せず，違法です。また私的使用に該当する場合であっても，代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** <出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は，そのつど事前に，出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088，FAX 03-5244-5089，info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。